

オビジガバチグモ *Castianeira shaxianensis* Gong

【選定理由】

県内では平野部に広く分布するが、採集・観察例の少ない種である。主に、河川敷や草原に棲み、どの生息地においても個体数は少ない。開発や河川工事等にもなう生息域の縮小、個体数の減少が心配される。



刈谷市小垣江町, 2011年10月4日, 緒方清人 撮影

【形態】

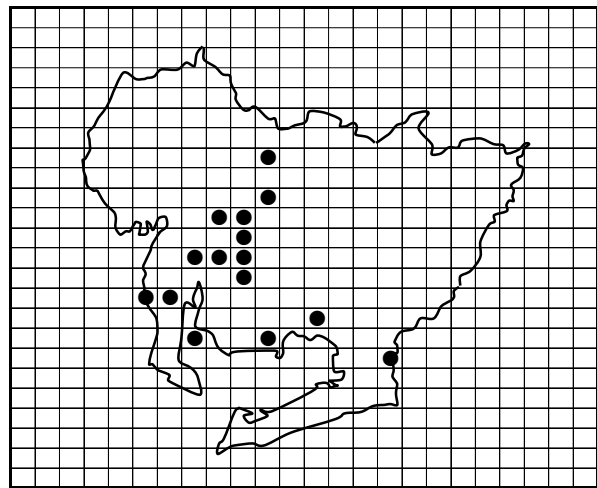
体長 6~8mm。全体に灰褐色で細長く灰色の横斑がある。歩脚は褐色で腿節に黒い条がある。

【分布の概要】

名古屋市、半田市、常滑市、岡崎市、豊田市、知立市、刈谷市、西尾市、豊川市、豊橋市で記録されている。

国内では本州、四国、九州に分布する（新海ほか, 2018）。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

河川敷や草原に棲み、地表を素早く徘徊する。一見、アリに似る。

【現在の生息状況／減少の要因】

どの生息地においても個体数は少なく、単独か数個体しか観察されていない。近年、開発等による生息地の消滅で個体数が減少している。

【保全上の留意点】

河川敷の護岸工事や、草原の開発は最小限にとどめ、生息適地の保存が望まれる。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.128,256. 偕成社, 東京.

八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.49,184. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.23. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.551,638. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.402,581. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)